

令和 7 年度

行政政策学類

編入学・学士入学試験

小 論 文

時 間 90 分

---

注 意 事 項

---

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子はこの表紙を除いて **7** 枚、解答用紙は **1** 枚です。  
印刷不鮮明の箇所などがあれば、監督者に申し出て下さい。
3. 解答用紙の指定欄には、必ず受験番号を記入して下さい。
4. 解答は、別紙の解答用紙の解答欄に横書きで記入して下さい。
5. 解答用紙は持ち帰らないで下さい。なお、問題冊子と下書き用紙は持ち帰って  
構いません。

<資料>は、阪井裕一郎『結婚の社会学』（筑摩書房、2024年）の終章「結婚の未来」の一部である。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

- (1) 傍線部①につき、筆者が結婚を脱中心化していくことが社会にとって重要だと考える理由を、200字以内で説明しなさい。
- (2) 傍線部②につき、エリザベス・ブレイクのいう「最小結婚」論とはどのようなものか、200字以内で説明しなさい。
- (3) 筆者の主張をふまえ、結婚という制度の未来はどうあるべきか、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

(注意)

解答にあたっては、解答用紙の1マスを1字に使い、句読点、引用符、括弧などはいずれも1字として扱うこと。ただし、算用数字及びアルファベットは1マス2字とする。書き出し及び行を改めたときは、1マス空けること。

〈資料〉 阪井裕一郎『結婚の社会学』（筑摩書房、二〇二四年）

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

(問題作成の都合上、本文の一部を省略した。)



# 令和7年度入学試験 小論文「出題意図」

(入試情報公開用)

## 行政政策学類 編入学及び学士入学

阪井裕一郎『結婚の社会学』（筑摩書房，2024年）の一部を資料として，受験者の文章読解力，論理的思考力，文章構成力，表現力，社会問題への関心などを総合的に測る。

(1) 筆者が考える現代社会における結婚という制度の問題点について資料から読み取り，適切に説明できるかを問うことにより，受験者の文章読解力，文章構成力，表現力を測る。

(2) 筆者の考えの基盤となっているエリザベス・ブレイクのいう「最小結婚」論について資料から読み取り，適切に説明できるかを問うことにより，受験者の文章読解力，文章構成力，表現力を測る。

(3) 筆者の考えをふまえた上で，結婚という制度の未来について論じさせることで，受験者の文章読解力，論理的思考力，文章構成力，表現力，社会問題への関心を測る。